



京機会ニュース

No. 35 平成26年(2014年)号

京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟b棟4階 (b4S13)

TEL&FAX:075-383-3713 URL:ht+tp://www.keikikai.jp/



京機会ニュース拡大版

～ 今号より年1回発行です！ ～

今号から、支部より開催行事を、写真掲載を含め詳細にご紹介いただき、ご参加いただけなかった皆様にもその様子をお楽しみいただきます。

その他の内容の充実も目指します。

● 各支部の報告は、P. 9～15をご覧ください。



京機会秋季大会のご案内

～ 懐かしの吉田キャンパス開催！ ～

本年度の秋季大会・総会は、昨年度の桂キャンパス開催の移転記念大会より開催地を一転し、懐かしの吉田キャンパスにて11月1日(土)に開催いたします。

当日は、第9回京都大学ホームカミングデーも開催されており、双方のイベントを十分にお楽しみいただけるスケジュール構成となっております。



■ 特別講演会は、旭化成(株)副会長藤原健嗣氏(S44)に『“これからの”新事業創出～「社会価値の創出」と「融合」がもたらす事業の広がり』と題してご講演いただきます。



■ 懇親会では、京大ホームカミングデー「食～京料理の伝統と科学」とテーマを合わせ、会場にユネスコ無形文化遺産登録「和食」の特別コーナーを設け、「京料理」を、皆さまにお楽しみいただきます。また、途中、マジックショーも開催予定です。

■ 総会後に記念写真撮影を行います。

農林水産省の「和食」紹介リーフレットの表紙

本大会より、本部総会は秋季大会のみ年1回の開催となります。会員やご家族の皆様が十分にお楽しみいただけますよう充実した開催に努めます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

● 詳細はP. 3をご覧ください。



充実の支部行事

～ 貴方も参加しませんか？ ～

現在、京機会では、関係者のご尽力により、5つの支部活動が活発に行われています。

本年度より「東北の会」も発足し、またひとつ新たな開催地候補も増えました。

各種行事は、支部の垣根を越えて、ご参加いただける形になっており、ほとんどのイベントで、会員ご家族のご参加も歓迎しております。

次は、貴方が実際に行事参加されませんか？



● これからの各支部開催行事は、同封の別冊案内をご覧ください。



京機会旗を新調します

～ 京都イノベーション・リソース様 ご寄贈 ～

平成15年から10年以上の長きに亘り、京機會のシンボルとして各種行事で活躍してきました「京機会旗」を、この度、NPO法人京都イノベーション・リソース様のご厚意により新調いたします。



「新・京機会旗」お披露目は、11月1日の京機会秋季大会・総会にて行います。

● K I R様の活動については、P. 20をご覧ください。

「東北の会」発足のご紹介

平成26年3月15日に、東北地区の有志により準備委員会を開催いただき、「東北の会」が同年4月より正式に発足いたしました。

会長は、清野 慧氏(S42)、事務局長は佐藤正明氏(S51博士)にご就任いただきます。

設立総会は来春以降に開催いただける予定です。開催の折は、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

次号からは、他支部同様に「東北の会」から生のお知らせを掲載させていただきます。



「東北大学工学研究科青葉山キャンパス」

メカトロニクス研究室 SHINOBI

ロボカップレスキュー 2014 優勝！

5月4日～6日に、新潟工科大学(柏崎市)で開催された競技会「ロボカップジャパンオープン2014レスキュー実機リーグ」で、機械理工学専攻メカトロニクス研究室(松野研)のレスキューロボット開発チーム「SHINOBI(しのび)」が、見事優勝を果たしました。

本大会には国内外12チームの参加があり、同チームは、遠隔操縦ロボット「KOHGA3(こうがすりー)」と自律探索ロボット「KAMUI(かむい)」の2台で参戦しました。●京機短信No.232に優勝報告を掲載しています。



学生と先輩との交流会にかかるお知らせ

来年3月6日(金)に、京都リサーチパーク(会場)で開催します！

今年度の「学生と先輩との交流会」は、年度末の平成27年3月の平日開催といたします。会場は、京都リサーチパーク(京都市下京区:JR丹波口より徒歩5分)です。

参加案内は、10月上旬に京機会員所属企業宛に郵送します。好評につき、昨年度は、早々に参加定数となり、今年度も満員御礼が予想されます。お早目の申込をお願いすると共に、先輩方のご参加をお待ちしております。なお、ご案内がお届けできていない企業もございます。本交流会にご興味をお持ちいただいた場合は、京機会事務局までご連絡下さい。

京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

学生会員諸君！

学生会員の多数の参加をお待ちしています。

詳細は、京機会からのE-mailや電光掲示板・ポスターにて確認下さい。

日時：平成27年3月6日(金)
交流会：11:00～16:45
懇親会：17:00～19:00

< 9月現在の予定です。時間変更になることもあります。>

会場：京都リサーチパーク(KRP)
懇親会費：1000円

早期申込みの場合は、懇親会費は500円！



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会との仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業に参加いただき、各社からも好評をいただいております。

平成26年度 京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催いたします。出席下さいますようご案内申し上げます。
本年度は京大ホームカミングデーと同日開催です。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時：平成26年11月1日（土） 15：20～20：00

会場：京都大学 百周年時計台記念館 「百周年記念ホール」「国際交流ホール」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話：075-753-2285

行事：＜大会受付＞ 14：45～ 百周年記念ホール 前

1. 京機会総会 15：20～16：35
2. 集合写真撮影 16：35～16：40
3. 特別講演会 16：50～17：50

「“これからの”新事業創出
～「社会価値の創出」と「融合」がもたらす事業の広がり～」

藤原 健嗣 氏（S44） 旭化成(株) 副会長



● 本講演は、ホームカミングデー参加の皆様にも一般公開させていただきます。

4. 懇親会 18：00～20：00



京大ホームカミングデーのメインテーマ「食～京料理の伝統と科学」にちなみ、京机会の懇親会でも八寸を中心とした京料理「和食」コーナーをご用意いたします。京机会関係者が絶賛する匠の技とお味をご堪能下さい。なお、数に限りがありますのでお早めに！



懇親会の中に、京大フォーミュラチームKARTの報告や、本年度学生会会長によるマジックショーも予定しています。

会費（懇親会費）：一般会員 4,000円 会員ご家族は無料
学生会員 1,000円

- **ご家族の参加も歓迎いたします。** ご家族参加の場合は、大会参加申込時にその旨ご回答下さい。
- **自由な服装でお越しください。**
- **10月23日(木)までに、同封のハガキもしくは、京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) からの参加申込をお願いします。**（但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方をお願いします。）



2013年ユネスコ無形文化遺産登録に選ばれた「和食」は、京都から発信されたもので、京都は「和食」のうま味や美しさそして伝統を集積した京料理を育んだ土地であります。また我が京都大学に於いても、食に関する研究の長い歴史があり、現在も活発な学術研究も推進されています。

本年度は、食をテーマに「食～京料理の伝統と科学～」と題して、ホームカミングデーが開催されます。

詳しくは、同封のチラシならびに京都大学同窓会ホームページ <<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>> をご確認ください。

- 京料理の伝統と科学 <10：10～12：00>：京舞 / 講演会
- フードフェスタ・イン・京大 <11：00～20：00>：老舗料亭の味を味わう（要予約） / クスノキ屋台村
- 音楽会・各種イベント <13：30～16：30>：音楽会 / 総合博物館企画店 / 尊攘堂自由見学など

平成26年度 京機会春季大会・総会のご報告



今年度の春季大会は中部支部主催にて、中部国際空港内のセントレアホールにて行いました。ご家族を含め173名の方にご参加頂き、大盛況な会となりました。



～ 特別企画ツアー ～

特別企画として、二つの特別見学ツアーとこども向け理科教室を開催しました。

～ 滑走路 空港消防署見学ツアー ～

今回の会場であるセントレアの滑走路をバスで一周し、普段目にする事のない空港の裏側を見ることができたり、間近で離発着する飛行機を臨場感をもって堪能できました。



また、今回のツアーでは京機会特別オプションとして、空港消防署に立ち寄り、特殊な消防用車両を見学することができました。なかでも、消防車からの放水は飛沫がかかるほどの迫力でした。

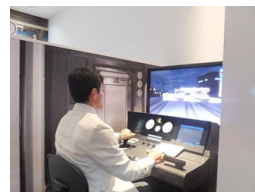


～ リニア・鉄道館 見学ツアー ～

名古屋港金城埠頭にあるリニア・鉄道館を見学しました。往年の機関車からリニアまでの実車を見学し、新幹線に乗り慣れた皆様におかれましては、一昨年引退した300系のぞみとの再会を懐かしんで頂きました。



他、抽選で当選された方には運転シミュレータを、またオプションを選択された方には新幹線開業当時の復刻幕の内弁当を各々楽しんで頂きました。



～ 理科ものづくり教室 ～

今回からの新しい取り組みとして、小・中学生を対象とした「理科ものづくり教室」を行いました。約10名の若きエンジニア?のたまご達が、空気マグネシウムカーの製作と競争を行いました。講師に扮した京機会中部支部の若手達が、空気マグネシウムカーの動作原理を分かり易く説明し、製作指導を行いました。塩水をかけると動き出す車輪を見つめる子どもたちの目の輝きがとても印象的でした。



● P.5に参加者からの感想を掲載しています。



～ 総会 ～

冒頭で松久寛会長(S45)よりご挨拶をいただき、ついで、開催支部である中部支部の佐々木一衛支部長(S52)より、今回の総会にお越し頂いた会員の皆様への感謝の辞を述べられました。

次に、平成25年度の活動報告と決算報告が榎木哲夫代表幹事(S56)、西脇眞二幹事(S61)より行われ、会の承認を得ました。ついで、平成26年度の活動計画、予算案、役員改選案を西脇幹事より提案いただき、承認を得ました。この中で、役員改選に関しては、京機会総会を年1回、秋季に行うことになった関係上、次回秋季大会までの役員体制ということになりました。



— 講演会 —

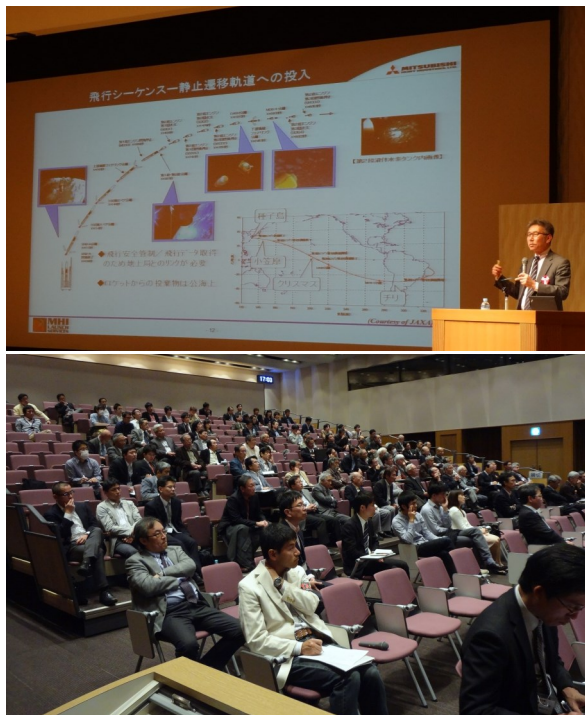
今回の講演会は、中部支部の平成25年度活動テーマ「先進モビリティーとものづくりで切り開く中部の未来」の集大成として、宇宙のモビリティーに関する2つのご講演を頂きました。

1つ目のご講演は、京都大学 藤本健治教授 (H2) による「メカトロニクスのための制御理論：ロボットと宇宙と確率統計」で、制御理論としての確率統計学について発表いただきました。



2つ目のご講演は、三菱重工業(株)浅田正一郎様より「ロケットの機械工学」と題し、太陽同期軌道、ロケットエンジンの燃焼サイクル、推進薬供給とロケット構造との連成振動等、ロケット特有の機械工学の事例をご解説いただきました。

理論と応用の両対極に立つ非常に有意義なご講演でした。



— 懇親会 —

懇親会は、夕陽の美しい時間帯に合わせて、セントレアの中で最も滑走路に近いレストラン「アリスダイニング」で行いました。

佐々木中部支部長の乾杯にて始まり、各支部より活動報告を頂き、KARTメンバーによる昨年の凱旋報告と今年の抱負を述べていただきました。



会場から望む夕日とそれをバックに離発着を行う飛行機を、デンソー社員によるバンド生演奏のジャズを聞きながら堪能しました。



また、広い会場では所々で同窓生が集まり、近況報告と昔話に花を咲かせていました。

最後に、本年度の新人会員の紹介があり、恒例の琵琶湖就航の歌を肩を組み合い合唱して散会となりました。あつと言う間に過ぎた、思い出に残る2時間でした。



多くの会員ならびにご家族にご参加いただきましてありがとうございました！



～ 理科ものづくり教室 ～

教室に参加いただいたみなさまに感想をいただきました。

●名古屋のセントレア空港で催された燃料電池で動くミニカー制作体験に親子で参加させていただきました。たくさんの大きな飛行機や、空港の働く乗り物を見学した後、見るだけではなく、実際に手に触れて、もの作りの体験が出来た事は、子供にとってすばらしい思い出になった事でしょう。

燃料電池の仕組みは、幼児にとっては理解する事が難しいものですが、京機会の方が子供にもわかるように、楽しいイラストなどを使って丁寧に説明をしてくださいました。実際の組み立ては、細かい部品も多く初めての理科工作ともあり、小さな手にとっては大仕事でした。苦労の末に出来上がったミニカーは、自分で組み立てた特別な存在になり、他の子供たちと一緒に興奮しながら走らせました。最後には、全員参加のレースも行われ、1位になった子も、そうでなかった子も、今日初めて会ったばかりなのに、大人も子供もとても仲良く楽しい時間を過ごせました。京機会の皆さんに、このようなすばらしい機会を作っていただいて、本当に感謝しています。

●今回子供教室に家族で参加させていただきました。お世話していただいた方には、燃料電池車の作成からレースまでご指導いただき、大変楽しむことができました。特に息子はレースに夢中になって遊んでました。またこのような機会があれば是非とも参加したいと思います。お世話していただいた方々にはあつく御礼申し上げます。

●総会、講演会と同時並行して、参加京機会員の家族を対象とした理科ものづくり教室が開催されました。小さな子どもを持つ若手の京機会員にとって、休日は家族サービスのための貴重な時間であり、OB会活動にその時間を充当することはなかなか難しいという実情がありますが、そのような人達でも京機械総会を家族で楽しめるようにという粋な企画でした。

今回は、空気マグネシウム電池により自走するミニカーを製作するという企画で、理科を勉強しているお子さんにとっては大変勉強になり、まだそのような事がわからない小さなお子さんでも十分に楽しめる内容となっていました。まだ4歳になったばかりの我が娘も参加させていただき、大興奮しておりました。この教室の運営に尽力して下さったSMILEOBの嶋本さん、城森さん、勝野さんには、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



ご参加ありがとうございました。今後もご家族でのご参加を京機会関係者一同お待ちしております。

京機会の社会貢献への試み

最近の京機会活動の新しい方向性として、社会貢献を試みています。

第1弾として、中部支部主催の本年度春季大会に於いて子供向けの理科ものづくり教室を開催いただきました。上記コラム記事にもありますように、子供達に貴重な経験を提供いただき、好評を博しました。

次企画としては、九州支部が、12月6日開催の秋の行事(同支部総会)の中で、長崎県立諫早高校への出張講義(2講演)ならびに同校生徒との小浜温泉バイナリー発電システム見学会を予定いただいております(詳細は同封の別紙支部行事案内をご参照下さい)。

地元高校生が、機械系技術者と身近に接することにより、科学技術に対する興味・関心を持ち、また将来の機械系技術者を目指す機会になればと考えています。

なお、同企画の前に、第2弾として10月26日開催の「難病フェスタ in 北九州」への協力が決定しました。

本フェスタは、九州支部長の千々木亨氏(S54)が、実行委員長を務められます。

京都大学からは、iPS研究所の櫻井秀俊先生が講師として参加され、九州支部会員有志も運営協力に携われます。

本学機械系教室(京機会関連研究室)でも、難病の患者さん方を支援できるような医療技術開発や介護関連技術研究が行われており、今回の趣旨に賛同する研究室が、京機会を通じ、展示協力させていただくことになりました。

その他の各支部でも、現在、社会貢献活動について、ご議論とご検討をいただいております。

京機会では、支部の協力を得ながら、今後も、無理のない形を基本として、社会への貢献を検討いたします。会員各位にも、併せてご協力をいただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。



～ 難病フェスタ in 北九州」パンフ～

平成26年度京機会役員 (敬称略)

◎*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【会長】 松久 寛(S45)

【副会長】

塩路 昌宏(S50)

小谷 重遠(S44、関西支部)

藤原 健嗣(S44、関東支部)

佐々木一衛*(S52、中部支部)

稲本 信秀*(S52、中国四国支部)

千々木 亨*(S54、九州支部)

後藤 崇*(H26、学生会)

【監事】 中谷 征司(S37)、川辺 泰嗣(S40)

森 雅彦(S60)

【代表幹事】 正:中部主敬*(S56)、副:松原 厚*(S60)

【会計幹事】 正:西脇 眞二(S61)、副:田中 和人(H6)

【常任幹事】

地区代表幹事:

(関西)織田 剛*(H2)、(関東)勝本 洋一*(H11)

(中部)奥村 和雅*(H2)、(中国四国)後藤 宏*(S62)

(九州)入船佳津一(S60)

大学側幹事:

(関西) 正:杉江 俊治(S51)、副:松原 厚(S60)

(関東) 正:吉田 英生(S53)、副:泉井 一浩*(H8)

(中部) 正:田畑 修*(S54)、副:鈴木 基史*(S61)

(中国四国)正:琵琶 志朗(H2)、副:安達 泰治(H2)

(九州) 正:井手 亜里(S52)、副:蓮尾 昌裕(S61)

(名簿担当) 中西 弘明(H4)

(広報:ニュース)正:富田 直秀*(S54)

副:鈴木 基史*(S61)

(広報:HP) 泉井 一浩(H8)

(学生会) 岩井 裕(H5)、河野 大輔(H17)

(教室代表:機械系) 中部 主敬*(S56)

(教室代表:エネギ-) 塩路 昌宏(S50)

(教室代表:情報) 杉江 俊治(S51)

学生会:砂原 優樹*(H26)

【通信・情報担当】 山田 崇恭*(H19)

【顧問】 久保 愛三(S41)、藤川 卓爾(S44)

【運営委員会】 運営委員長:塩路 昌宏(S50)

久保愛三、熊澤正博、小谷重遠、稲本信秀*

千々木亨、佐々木一衛*、吉田英生、北條正樹、

榎木哲夫(S56)、西脇眞二、山口美賀(H15)

<本部役員改選のお知らせ>

4月の春季大会・総会でご承認いただきましたように、今秋より総会を年1回開催とすることに伴い、本部役員の改選を11月の秋季大会・総会で行います。上記役員の任期は平成26年10月31日までです。

平成26年度京機会学年幹事 (敬称略)

平成26年度学年幹事は下記の通りです。各位には本年度もご協力の程よろしくお願い申し上げます。

秋季大会・総会当日、全体幹事会を、物理系校舎2階216室にて、13:45～15:05に開催いたします。

幹事各位には万障お繰り合わせの上ご出席の程よろしくお願いいたします。幹事会の詳細案内は、別途お送りします。

卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail
1947	若林 穰	1947hyogiin	1963	中川 哲	1963hyogiin	1980	奥田 寛	1980hyogiin	1997	佐野 智一	1997hyogiin
1948	岐美 格	無	1964	垣野 義昭	1964hyogiin	1981	榎木 哲夫	1981hyogiin	1998		
1949			1965	池内 健	1965hyogiin	1982	矢辺 保行	1982hyogiin	1999	藤本 亮	1999hyogiin
1950	小澤 和雄	1950hyogiin	1966	中嶋 邦彦	1966hyogiin	1983	永瀬 豊	1983hyogiin	2000	小田 豊	2000hyogiin
1951	吉川 和彌	1951hyogiin	1967	藤川 卓爾	1967hyogiin	1984	横小路泰義	1984hyogiin	2001	土井謙太郎	2001hyogiin
1952	山本 巖	1952hyogiin	1968	来田 浩毅	1968hyogiin	1985	田坂 誠均	1985hyogiin	2002	金田 靖弘	2002hyogiin
1953旧	乾 幸人	無	1969	小谷 重遠	1969hyogiin	1986	蓮尾 昌裕	1986hyogiin	2003	吉富 聡	2003hyogiin
1953	西田 弘	1953hyogiin	1970	各務 嘉郎	1970hyogiin	1987	川上 浩司	1987hyogiin	2004	安富 亮太	2004hyogiin
1954	岡崎 順応	1954hyogiin	1971	三津田恒夫	1971hyogiin	1988	玉川 雅章	1988hyogiin	2005	向 朋作朗	2005hyogiin
1955	田中 道七	1955hyogiin	1972	秋山 雅義	1972hyogiin	1989	石谷 善博	1989hyogiin	2006	勝野 友介	2006hyogiin
1956	橋本 昌	1956hyogiin	1973	増本 雄治	1973hyogiin	1990	川那辺 洋	1990hyogiin	2007	長谷川寛晃	2007hyogiin
1957	坂戸 瑞根	1957hyogiin	1974	田上 眞	1974hyogiin	1991	高橋 俊雄	1991hyogiin	2008	所 哲哉	2008hyogiin
1958	野田 忠吉	1958hyogiin	1975	塩路 昌宏	1975hyogiin	1992	須山 徹	1992hyogiin	2009	松本 洋平	2009hyogiin
1959	柴田 俊忍	1959hyogiin	1976	杉江 俊治	1976hyogiin	1993	岩井 裕	1993hyogiin	2010	工藤 朋也	2010hyogiin
1960	矢部 寛	1960hyogiin	1977	星出 敏彦	1977hyogiin	1994	茨木 創一	1994hyogiin	2011	荒井 未来	2011hyogiin
1961	井上 恵太	1961hyogiin	1978	上原 一浩	1978hyogiin	1995	小森 雅晴	1995hyogiin	2012	大山 勇巳	2012hyogiin
1962	吉岡 肇	1962hyogiin	1979	坂口 保彦	1979hyogiin	1996	泉井 一浩	1996hyogiin			

(注1)該当アドレスへ送信すると、学年評幹事の登録メールアドレスに自動転送されます。本内容はある種の個人情報です。

各位にはお取り扱いには十分にご留意下さい。

(注2)アドレスの後ろは、@keikikai.jp をつけてください。

(注3)上記一覧の「E-mail」項目に「無」と記載されている場合、現時点では、本連絡システムはご利用いただけません。

(注4)本連絡システムに対するご質問・ご意見等のご連絡は、京機会事務局 (TEL:075-383-3713 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp) まで。

京機会平成25年度決算ならびに平成26年度予算

				単位:円		
科目	概要	H25年度予算	H25年度決算	(差異)	備考	H26-27年度予算
収入の部	会費収入	7,750,000	8,786,123	-1,036,123		8,700,000
	(内訳)					
	一般会費		6,675,000			665,000
	永年会費		1,140,000			1,050,000
	学生会費		971,123			1,000,000
	寄付収入	50,000	52,000	-2,000		50,000
	名簿広告収入	0	0	0		0
	名簿収入	15,000	0	15,000		0
	交流会収入	一社 @50000	4,500,000	4,410,000	90,000	5,000,000
	行事参加収入		420,000	353,000	67,000	400,000
	特別会計繰入金		90,000			
	利息		25,000	30,411	-5,411	10,000
	その他		10,000	0	10,000	0
	合計		12,860,000	13,631,534	-876,534	
支出の部	通信費	ニュース・大会案内・名簿など	900,000	848,779	51,221	520,000
	印刷費	ニュース・大会案内・名簿など	1,360,000	1,419,488	-59,488	970,000
	人件費	職員人件費・臨時アルバイト代・退職積立金	4,820,000	4,857,339	-37,339	5,030,000
	支部活動費		1,745,000	1,688,014	56,986	1,945,000
	(内訳)					
	関西			559,821		560,000
	関東			419,219		420,000
	中部			311,130		315,000
	中国四国			216,101		218,000
	九州			180,243		182,000
	その他			1,500		50,000
	予備費			0		200,000
	大会経費	春季大会・秋季大会	570,000	514,357	55,643	370,000
	交流会費		1,000,000	1,234,471	-234,471	2,200,000
	スマイル活動費		200,000	166,368	33,632	220,000
	機械系教育補助費	工場見学・修士修了パーティーなど	820,000	927,800	-107,800	1,050,000
	名簿引当金繰入金		300,000	300,000	0	300,000
	旅費	幹事会・運営委員会・支部総会など	330,000	268,500	61,500	630,000
	会議費	幹事会・運営委員会・評議員会など	260,000	241,384	18,616	250,000
	会費振込手数料	銀行・郵便局手数料	220,000	227,930	-7,930	230,000
	業務諸費	備品消耗品・通信費・事務局管理費など	335,000	218,159	116,841	265,000
	社会貢献費		0	0	0	100,000
	予備費		0	0	0	80,000
	その他		0	6,500	-6,500	0
合計		12,860,000	12,919,089	-59,089		14,180,000
当期正味財産増減額			712,445			0
前期繰越正味財産額			10,810,831			10,763,276
期末正味財産合計額			11,523,276			10,763,276

<会計決算年度変更のお知らせ>

先の春季大会総会で承認いただきましたように、今秋から会計年度を従来の3月決算から9月決算に変更いたします。11/1秋季大会にて「2014.4.1～9.30」決算報告と新年度「2014.10.1～2015.9.30」予算報告をさせていただきます。

会費納入のお願い

平成26年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

●永年会員登録のお勧め

1977年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

●京機会年会費自動引落としのお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落としにさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用ください。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

申請依頼書は京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13

京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

■年会費自動引落日は8月1日に変更となりました。

●インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

せろきゆうきゆう

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821

みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630

郵便振替口座 00990-8-116821

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

同封用紙の裏面にある「会費納入用紙」に必要な事項を、ご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度ご寄付者 (H25. 9. 17～H26. 8. 16)

角田 晴雄 様(1945) 松浦 清一 様(1950)

岩崎 恵二 様(1952) 仁科 稜三 様(1958)

藤川 卓爾 様(1967) 新谷 誠 様(1972)

田上 俊明 様(1998)



第13回 ゴルフ会のご報告

3月23日(日)にゴルフ会を江戸崎カントリー倶楽部で行いました。晴天のもとに複数の初参加者を含め11名が参加しました。熱戦の結果、若手の内藤拓氏(H23)が栄えある優勝杯を獲得しました。

9月25日(木)に、グレンオークス・カントリークラブ(千葉)にて開催しました第14回ゴルフ大会の様子は、次号にて紹介させていただきます。



第7回 写真同好会撮影会のご報告

5月18日(日)に、春の写真同好会撮影会を「横浜三溪園」にて実施しました。今回は、参加3名という、ちょっと寂しい会になってしまいましたが、3人で新緑の庭園を撮りまくって参りました。

撮影後、恒例の昼食会を、今回は中華街で楽しみました。3名の皆様の力作は、「京機会関東支部ホームページ“写真同好会”」に掲載いたしております。

<<http://www.keikikai.jp/shibu/kantou/>>
ご高覧ください。



<過去の作品集> 作品の一部をご紹介します



第6回 MOTセミナーのご報告

8月23日(土)京都大学東京オフィスにて、発明と知財の2領域で企業の育成や学会発表、著作発刊に取り組み、京都大学の「ものづくり論」でも教壇に立つ、TechnoProducer(株)代表取締役の楠浦崇央氏(H7)にお越し頂きました。「知財が事業をレバレッジする時代～知識資本主義時代の技術経営の本質を学ぶ」と題した内容に参加者から多数の質問があり、非常に盛り上がりました。

その後の懇親会では、楠浦氏を参加者が囲んで、より突っ込んだ質問や普段の業務ではできない議論を重ねながらも思い思いに交流を深め、大変有意義な会となりました。



学生工場見学会のご報告

9月4日(木)～5日(金)に、学生会SMILEとの共催で工場見学会を実施しました。

各企業のご協力により、(株)IHI、(株)野村総合研究所、日本航空(株)、三菱日立パワーシステムズ(株)を見学いただきました。

当日の様子は、次号で報告させていただきます。

第13回 異業種交流会のご案内

年度内に開催予定で、現在企画中です。

詳細は、追って京機会ホームページならびにE-mailにてご案内いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。

平成27年度 関東支部総会・新年会のご案内

今年度の関東支部総会は、以下の日程で開催します。

関東支部会員は同封の別冊案内をご確認下さい。詳細は、京機会HPにも掲載しております。

**日時：平成27年1月31日(土)
13:00～**
場所：日立金属 高輪和彊館



2014年度春季大会・総会の報告

日時:2014年4月12日(土)

場所:中部国際空港 セントレアホール

参加人数:173名(ご家族含む)

今年の春季大会は、京機会中部支部主催にて、中部国際空港内のセントレアホールにて行いました。

講演会では中部支部の2013年度活動テーマ「先進モビリティーとものづくりで切り開く中部の未来」の集大成として、宇宙のモビリティーに関する2つのご講演を頂き、京都大学 藤本教授、三菱重工業(株)浅田様より、理論と応用の対極に立つ非常に有意義なご講演をいただきました。

また、空港消防署、リニア館の見学ツアーや、若手の会による小学生以下を対象とした理科教室。そして、夕日と、それをバックに離発着を行う飛行機を見ながらの懇親会。楽しく有意義な一日でした。

● ご春季大会・総会の模様はP.4~6もご覧下さい



技術交流会の報告

場所:三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所
(愛知県西春日井郡豊山町)

名古屋誘導推進システム製作所(小牧市)

参加人数:44名

講演:「航空宇宙の品質保証について」

近藤 栄也氏(S58) 三菱重工業(株)

ゼロ戦やロケットエンジンの展示してある三菱重工業(株)の史料室2か所とジェットエンジンの部品を加工する工場を見学しました。ゼロ戦を手が届く近さで見ることができる場所は、日本ではここぐらいとことで、当時の技術の粋を集めて作られた飛行機に、参加者が皆見入っていました。



また、この日は特別に風防横の見学場所に入れていただき、風防越しにコックピット内部を見せていただきました。工場見学では、ジェットエンジンの燃焼器とタービン部品を加工する工場に案内していただき、難削材のニッケル合金を1/100mmの精度で加工するところを、加工機械のすぐ傍で見ることができました。講演会では、航空機にもとめられる「安全」と「信頼」を作り込んでいくシステムの構築について学ばせていただきました。



学生フォーミュラ応援ツアー

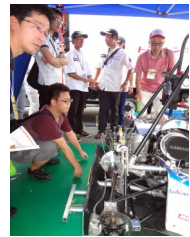
日時:2014年9月6日(土)

場所:静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)

昨年度より中部支部若手の会主催で応援ツアーを企画しました。

去年の優勝の感動を、もう一度味わいたいOB達が今年もエコパに終結しました。観戦記は、次号ならびに京機短信にてご報告します

(右写真:2013年応援ツアーの様子)



学生工場見学会&設技術交流会

日時:2014年9月25日(木)~26日(金)

場所:25日:トヨタ産業技術記念館、トヨタ自動車(株)

26日:(株)デンソー、DMG森精機(株)

講演:25日:(題目未定)

安部 静生氏 トヨタ自動車(株)(S57)

懇親会:25日:(株)デンソー安城荘

OBも参加可能な技術交流会は、トヨタ自動車株の見学と、トヨタ自動車(株)安部様によるご講演、(株)デンソー安城荘での懇親会を予定しています。

会の様子は、後日ご報告します。

2015年度 中部支部総会のご案内

2015年度中部支部総会は、来年4月上旬に開催する予定です。

今回の会場は、豊田自動織機(株)福利厚生施設「シャインズ」を予定しています。

詳細は、E-mailならびにホームページでご案内しますので皆様のご参加をお願い致します。



支部総会・異業種交流会のご報告

日時：平成26年4月4日(土) 12:30~19:30
場所：ホテルセンチュリー21広島(広島市南区)
参加人数：40名
行事内訳：

I. 特別企画(広島観光)

- 1) 平和公園・原爆ドーム
2) 広島リバークルーズ(パールン号)



II. 支部総会

活動報告・会計報告・規約改正・役員改選



支部役員(平成26年度)

- 支部長 稲本 信秀(S52)
副支部長 山田 仁(S54)、田中善一郎(S57)
" 琵琶 志朗(H2)、古屋 博章(S57)
監事 三原 豊(S43)
事務局長 後藤 宏(S63)
事務局次長 高橋 一彦(S58)

支部役員(平成26年度) <つづき>

- 評議員 岡 宏一(S56)、宇野 義幸(S43)
" 松浦 正幸(S61)、藤岡 宏規(S55)
" 岩崎 嘉徳(H元)、小川 誓(S62)

支部会計報告(平成25年度)

Table with 4 columns: 収入, 支出, 費目, 金額(円). Rows include 前期からの繰越金, 本部からの交付金, 合計, etc.

III. 異業種交流会(講演)

- 1) 『ポリテクカレッジ・中国能開大から日本のものづくりを考える』 宇野 義幸氏(S43)中国職業能力開発大学校長
2) 『原子力発電所の新規制基準対応について』 小川 誓氏(S62) 中国電力株

IV. 懇親会

参加者の過半数の皆様スピーチをお願いし、大学教育の課題・研究や起業のテーマ選考・経済産業界の動向・リタイア後の関心事など幅広い話題に関して語り合いました。



● 平成27年度中国四国支部総会・異業種交流会は、平成27年4月上旬に山口にて開催予定です。





H26年度九州支部春の行事のご報告

～韓国釜山見学ツアー～

九州支部では春の行事として去る5月10～11日に韓国釜山市を訪問いたしました。京機会として初の海外行事でしたが、総勢24名の方がご参加頂き、大変楽しい意義深い行事となりました。京機会会長経験者の方々4名をはじめ、韓国人の会員の方が4名、ご家族連れが計5組ご参加頂きました。

1) 京機会ミニ講演会

演題:「韓国のメルティングポット 釜山の過去.現在.未来」
講師: 朴 正圭氏(韓国自動車産業研究所前任研究員)



松久研究室で助手をされていた朴正圭さんが、釜山をテーマに講演下さいました。釜山の地政学的位置づけ、古代以降歴史の中で果たした役割から釜山の特徴を整理しその魅力をPR頂きました。

朴さんは openness(開放性)、connectivity(連結性) practicalism(実用性)の三つの角度から釜山の特徴を整理し、判りやすく紹介下さいました。

2) 日韓シームレス物流基地見学

日韓シームレス輸送とは、日本と韓国のどちらの道路も走ることを許可されたトレーラーを用いフェリーを介して積み替えせず、直接日本と韓国の間を搬送する物流サービスです。今回その集配基地を見学しました。前日までに集められた部品は日韓両用コンテナに積み込まれ、翌日には九州の自動車組立工場に運び込まれ、即日使用されます。日韓物流の新時代到来を予感させる光景でした。

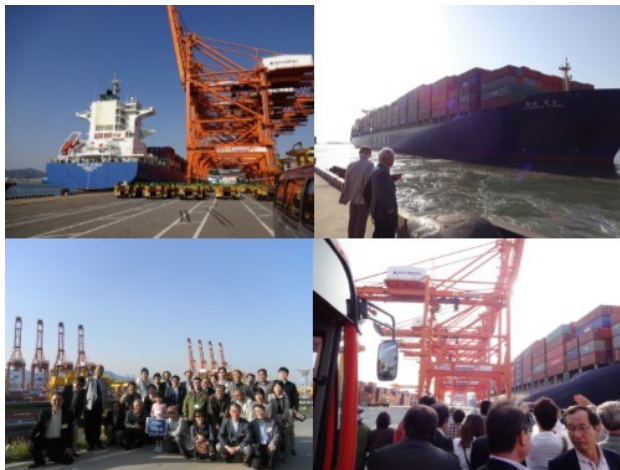


3) 釜山国際コンテナターミナル見学

釜山国際コンテナターミナルは、韓国が成長戦略の一環として8兆円の巨費を投じて建設した取扱量世界第五位のコンテナターミナルで、その規模は横浜、神戸、福岡、北九州を合わせた量を上回ります。中継貿易立国

を目指すと同時に、シナジー効果で韓国経済を浮揚させようという国家戦略が明確に見えてきます。

今回は、その中で最大級の現代コンテナターミナルを見学しました。見学時には超大型コンテナ船が3隻停泊し、積込作業を行っておりました。参加者全員そのスケールの大きさに圧倒されました。



4) 懇親会

懇親会は釜山最大の海鮮市場のチャガルチ市場にある、海鮮バイキングレストラン「オアゼ」で行いました。開宴に先立ち、旅客船沈没事故で亡くなった韓国の若者に皆で黙とうを捧げました。皆で遅くまで韓国談義で盛り上がりました。



5) オフショナルトゥアー

翌日は、通度寺、海雲台をめぐる釜山郊外ツアーと慶州ツアーの2グループに分かれ、韓国の自然と歴史文化を堪能しました。



釜山見学ツアーの様子は、京機短信No.232～No.236にてご紹介しております。

● 平成26年度九州支部<秋の行事>は、平成26年12月6日(土)に雲仙にて開催します。詳しくは、別冊案内をご覧ください。



上期の活動報告と今後の予定

■ 異業種交流会

・第35回:平成26年1月31日(金) 参加者:15名
会場: DMG森精機(株) 伊賀事業所
講演:「工作機械の開発と生産」
～グローバル環境へのチャレンジ～
常務執行役員 藤嶋 誠氏(博士(工))

DMG-森精機(株)の統合に伴う機械とサービスのOne Brand化へ向けてのデザイン戦略や新しいマンマシインターフェイスに関する講演の後、機械組立、マグネスケール製造工程、主軸部品切削、研削工程、熱処理工場、主軸組立工程、大型鋳物工場を見学。質疑応答の後、若手技術者も交えて懇親会にて交流を行いました。



・第36回:平成26年3月7日(金)
参加者31名(内学生14名)
会場: 三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場

スマイル学生見学との合同企画でした。高砂工場は、ガスタービン・蒸気タービンの開発・実験・製造をシームレスに行える最先端工場です。工場の全体説明の後、タービンの開発の動向、最新の設計・解析・製造技術の詳細な紹介がありました。工場見学ではタービンブレード加工工場、タービン組立工場、翼溝加工工場、実証実験設備、研究実験設備を見学し、続く懇親会では若手を中心に自己紹介と感想を述べてもらい、会は大いに盛り上がりました。



■ 産学懇話会

・第40回:平成26年7月5日(土) 参加者:46名
場所:京大吉田キャンパス物理校舎216室
講演:
1) ロボットを使用した細胞自動培養システムの開発
川崎重工業(株) 中嶋 勝巳氏(S54)
2) 病院用ロボットの開発とそのビジネス
～技術イノベーション×企業内起業～
パナソニック(株) 北野 幸彦氏(S56)

3) 多変量データ解析の活用:製造プロセスから医療まで
京都大学 教授 加納 学氏(H4)

■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照下さい。

● 京都あそび

・第2回:平成26年4月26日(土) 参加者:34名
場所:祇園甲部歌舞練場での「都をどり」鑑賞
お庭や芸舞妓さんの作品展を鑑賞し、お茶席に入って立列式のお手前を拝見しながらお茶とお菓子を味わった後、観覧席について華やかな芸舞妓さんと三味線、笛などの鳴り物を奏でる地方(じかた)さんによる「都をどり」を鑑賞して京都の春を堪能しました。懇親会の後は、希望者で祇園の老舗お茶屋「みの竹」ラウンジで芸妓、舞妓さんとお酒をいただき、京都の夜を楽しみました。



● 産業遺産探訪

・第3回:平成26年5月24日(土) 参加者:28名
場所:有形文化財・近代化産業遺産 大阪倶楽部会館
テーマ:大正～昭和初期の産業遺産(社交クラブと飛行機)
内容:講演「ジョージ・ケイリー卿:航空の父か」
～19世紀イギリス貴族の生活と固定翼の発明～
織田 剛氏(H2)

会館見学(一社)大阪倶楽部

昔の雰囲気を感じる建物の中で、飛行機の話や発案の原点にあり、講演では、飛行機の原点である羽ばたきで無く固定翼で空を飛ぶという発想を、始めて具体化した19世紀イギリス貴族の生活と研究が紹介されました。その後、会館を見学しました。関東大震災直後に気鋭の設計家が腕をふるって作ったものにはいろいろと共感するところが多くあります。



第4回:平成26年11月15日(土) 参加者募集中
・場所:有形文化財・近代化産業遺産 大阪倶楽部会館
・講演:「先達に導かれて技術史の世界を遍歴する」
関西大学名誉教授 下間 頼一氏(S25)



●ミュージックカフェ

・第3回:平成26年6月14日(土)
参加者11名(ご夫婦3組を含む)
場所:京都高台寺音楽祭「和歌うたコンサート」
内容:「じゅん&ネネに会いに行こう」

生きていることへの深い感謝、甘く切ない恋の痛み、自然の豊かさへの感動、三十一文字に秘められた古の思いを唄う早苗ネネさん(じゅん&ネネ)。

コンサート後、京機会でネネさんを独占談笑。大スターに対して臆することもなくあつかましい京機会メンバーでした。ツーショット撮影をお願いする人多数。ネネさんとコアファンとスタッフの打ち上げ会場に京機会メンバーも特別参加させていただきました。



●大阪あそび

・第4回:平成26年6月21日(土) 参加者:16名
「大阪梅田から淀川を越えて十三へ」～13番目の渡しに架かった十三大橋と「義経」号のボイラーの見学～

真新しいビル群を抜け、旧北野中学(現、北野高校)跡から「新北野」界限へ。途中サツパボイラー様にて蒸気機関車「義経号」のボイラーの修繕設備を見学、その後、大阪～神戸間の鉄道開通時に架設された鉄桁を移設・転用した浜中津橋などを巡る小旅行。梅雨にも関わらず天気恵まれ、がんこ本店にて15名の参加者により親睦を深め解散となりました。



●MOT研究会

・第46回:平成26年5月26日(月) 参加者:17名
場所:大阪弥生会館
講演:

- 1)「タイと日本の草の根交流活動」 成瀬 忠史氏(S47)
- 2)「ボランティアにかかわって」 田中 庸彦氏(S51)

今回はボランティアに関する話題で開催しました。自然災害の被災地支援、ホームステイ受け入れ、タイとの草の根交流等を題材に、異文化との交流の大切さや心の豊かさとは何かについて考えさせられる会でした。

●ビジネス倶楽部

・第3回:平成26年6月27日(金) 参加者:23名
会場:伊勢神宮外宮・せんごう館・内宮
松田工業(株)松田精工(株)
講演:「創業者から学んだこと」
代表取締役社長 松田 浩明氏(H5修士)
見学会:松田工業(株)松田精工(株)両工場見学

今回は変則的に開会の前に伊勢神宮参りを行いました。参加者は総勢で23名(うち名誉教授3名、会員の関係者5名)。伊勢神宮参り(途中昼食)の後、松田浩明氏が経営しておられる松田精工(株)並びに松田工業(株)にて講演会、工場見学が行われ、最後は駅前の料亭にて懇親会を行いました。



●ゴルフカフェ

・第4回:平成26年7月17日(木) 参加者:8名
場所:新大阪ゴルフクラブ

快晴の下、大阪府の新大阪ゴルフクラブで開催され、昭和40年から51年卒業の8名参加でグロススコアは78から114でした。ダブルペリアの結果、後半38を出された龍野憲三さん(S40)が初優勝されました。2位はベストグロス78で前回優勝の田中庸彦さん(S51)、3位は川合等さん(S42)でした。プレー後はグローバルな近況報告と情報交換で楽しく過ごしました。

次回は、同会場(新大阪ゴルフクラブ)で、京機会秋季大会前日の10月31日(金)に、開催いたします。





● 文楽鑑賞会

- ・第11回:平成26年8月2日(土)
- 参加者:24名(ご夫婦9組を含む)
- ・場所:国立文楽劇場
- ・演目:平家女護島(へいけによごのしま)
鎖の権三重帷子(やりのごんざかさねかたびら)



<参加者のご感想>

京機会のお世話で毎年決まって観劇できるようになり、大変有難い。毎回幹事さんのお世話に深く感謝する。
今回の参加者は今までよりも夫婦連れが多くなったのが新しい流れであった。観劇後の懇親会も楽しみであった。近頃は京機会関西支部の行事が多くなって、お

互いに会う機会が増えたが、今見た舞台などを話の種にビールを飲むのは爽快である。毎回、話が弾んでビールの消費量が計画を超過するのは申し訳ないが、貴重な観劇の印象をさらに深める仕上げのコストとご容赦いただければ幸いである。

● 京機私塾 (U-40)

- ・第2回:平成26年9月12日(金)
- 会場:大阪弥生会館
- 講演:「目的と手段」
旭化成(株) 副会長 藤原 健嗣氏(S44)

技術者・社会人として生き抜くために身に着けるべき「素養」は、技術以外にも、マネジメント力、リーダーシップ、仕事の進め方、企画力、メンタル、家庭と仕事のバランスなど多岐にわたります。本会は、今後30年を活躍していく上で、そういった「素養」を京機会メンバーと身に付けていく場、各位の抱えている課題の「答えのヒント」を見つげ出すための利害を超えた交流の場を目指しています。

● 平成27年度関西支部総会・新年会は、
平成27年1月17日(土)に新大阪の「ラングイア」にて開催します。詳しくは別冊案内をご覧ください。

教員の異動

新任

◆中嶋 薫准教授 : H6京大・工・物理工卒、H8同大学院工学研究科・修士課程修了、H9同博士後期課程中途退学、H21本学博士(工学)、H9.4.1本学機械物理学専攻助手、H26.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻准教授。イオンビームと表面の相互作用に関する研究に従事。奈良県出身。



◆丸田一郎助教 : H18京大・工・物理工卒、H20同大学院情報学研究科・修士課程修了、H23本学博士(情報学)、H23学術振興会特別研究員PD(於慶應義塾大学)、H24本学情報学研究科システム科学専攻特定助教、H25同助教。システム同定と制御理論の研究に従事。大阪府出身。



京機会 Facebook

2013年11月27日、京機会 facebook ページを開設しました。是非ご利用下さい



同窓会開催のお手伝いをします!



京機会の目的は会員の親睦と発展であり、その原点は各卒業年度同窓会活動にあります。学年同窓会や研究室同窓会開催に際し、京機会事務局は、皆様の運営にご協力いたします。

現在、事務局では、ご希望に応じて、新たに導入した新受付WEBシステムや案内配信・宛名ラベル出力などのサービスをご提供しています。具体的な手続きは、事務局にご連絡ください。

なお、個人情報保護の関係で、関連データ提供に関しては、簡単な規則を設けて運用しています。



新受付システム画面

是非、各種同窓会をご計画下さい。

ナノメートルサイズ of 材料加工をお手伝いします！

— 京都大学ナノテクノロジーハブ拠点のご紹介 —

はじめに

機械系出身の皆様は、学生時代に実習工場で旋盤やフライスを使って実験装置やその部品を作った経験をお持ちの方が沢山いらっしゃると思います。オリジナリティの高い研究をするために、他研究室にない実験装置を自分たちで部品から設計し、自分で作って組み立てる事が頻繁にあります。装置は市販のものでも、装置の一部に自分で作った構造を組込んで装置の性能を高めたり、サンプルを自分で加工して他所とは違う実験を行うこともあります。実験装置、実験治具、実験サンプルを自分たちで設計、加工して作製することは、オリジナリティの高い研究を行う上で、企業においては、他所に真似されない製品を作るうえで極めて重要です。

一方、ナノテクノロジー、略してナノテク、という言葉を目にする機会が増えました。ナノメートル(1メートルの10億分の1)を単位として使うほど小さな領域での特異な現象の解明や応用、あるいは分子・原子オーダーの精密な加工などを利用してものづくりをする時の基盤技術です。機械系でもナノテク分野で研究を行う研究室が増えました。

ナノテクは平成21年12月30日に閣議決定された「新成長戦略(基本方針)」に示された6つの戦略分野の1つとして位置づけられ、日本のイノベーションを達成するための基盤技術として、益々重要性が高まっています。しかし、ナノテク分野の研究における大きな問題は、研究開発に必要な装置が、1台数千円～数億円と極めて高価で、その操作に熟練が必要であることです。これまでは、ユニークなアイデアがあっても、装置がない、あるいは装置を操作できる熟練した技術者がいない、などの理由で研究開発に着手出来ませんでした。せっかくの良いアイデアがこうした理由で埋もれてしまうのは非常に勿体ないことです。ではどうしたら良いのでしょうか？その答えが京都大学のナノテクノロジーハブ拠点(京大ナノハブ)です。最新鋭の微細加工装置群(総額約35億円、ナノリソグラフィ、ナノ材料加工・創製、ナノ

材料分析・評価の3分野合計で80台超)がクラス100のクリーンルームを含む850㎡の実験室に共用設備として整備されています。

詳細は、京大ナノハブのポータルサイト (<http://www.mnhub.cpier.kyoto-u.ac.jp/>) をご覧下さい。

京大ナノハブには、次のような特徴と利用メリットがあります。

1. **全学組織での運用による独立性の確保**
借用する教員の顔色を窺わなくてもよい。
2. **明瞭で利用しやすい料金体系**
明朗会計システムなので、装置の借用料金をいくら払うことになるのだろうか、などと悩まなくてもよい。
3. **機密保持に配慮**
利用目的を言わなくてもよいので、機密性の高い企業の新製品開発業務にも利用できる。
4. **京大研究者による専門的な支援体制**
専門的なアドバイスが欲しい場合は、適切な京大研究者を紹介してもらえる。
5. **専門技術者(9名)によるオペレ、利用支援・装置管理**
いつでもベストコンディションの装置が使える。装置の使い方はしっかり教えてもらえる。作業代行もお願いできる。保守管理の費用や手間に頭を悩ませなくてよい。
6. **各装置の前でTV会議システムを利用可能**
同僚・共同研究者・指導教員とTV会議システムで議論・相談をしながら作業を実施できる。
7. **スムーズ・迅速な利用申し込み**
最短、申し込んでから3日で利用できる。

京大ナノハブに設置されている共用設備の1つとして、高性能収束イオンビームと電界放出形走査電子顕微鏡の複合装置を紹介します。(図1) エネルギー分散型X線回折分光器(EDS)/電子線後方散乱回折装置(EBSD)/真空用ピコインデントシステムを搭載しており、イオンビームでエッチング加工した後、FE-SEMで観察しながら真空中で元素分析・結晶方位解析・機械的材料特性評価を実施することが可能な優れたものです。

図2は、直径3 μm のカーボン微粒子に三角錐圧子をインデントした後の圧痕を示しています。

平成26年には最新の大面積超高速電子線露光装置(最大加速電圧50kV、描画最小線幅17nm)を導入し、8月から運用を開始しました。この装置は、8インチシリコン基板から10~30mm角基板までの多



図1 収束イオンビーム/操作電子顕微

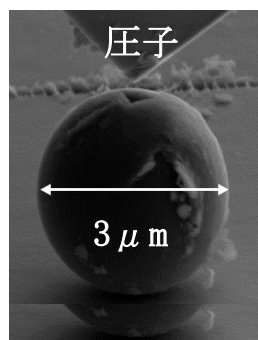


図2 炭素微粒子へのインデント

様な基板サイズに、可変成形ビームと非可変成形ビームを組み合わせることで高速度な微細パターンを描画できます。必要に応じて、さらに微細パターンが描画できるスポットビーム方式（最大加速電圧125kV、描画最小線幅5nm）の既設の電子線露光装置と使い分けて頂くことで、ますます多様なニーズに応えることができるようになりました。

一人でも多くの方にご利用頂き、ナノハブを初の創出・蓄積・応用・伝承の協奏・共鳴場として活用してイノベーションを創り出すお手伝いをするのが京大ナノハブの使命です。皆様のご利用とご活用をお待ちしています。

田畑 修氏の略歴：S56.3名古屋工業大学大学院修士課程修了。同年(株)豊田中央研究所入社。H8.4立命館大学理工学部機械工学科助教授。H12.4同大学教授。H15.9京都大学大学院工学研究科機械工学専攻教授。H17.4同マイクロエンジニアリング専攻教授(改組)。京都大学日本エジプト教育研究推進ユニット長、京都大学ナノテクノロジーハブ拠点運営責任者、電気学会理事・センサマイクロマシン部門長。



学生会SMILEからのお知らせとご報告

フットサル大会の報告

日時:平成26年4月19日(土)

会場:ケルビトフットサルクラブ(京都市西京区)

学生会SMILEの広報と機械系学生同士の親睦のために行ってまいりましたフットサル大会ですが、大変好評のため恒例のイベントとなりつつあります。

日頃運動をする学生もしない学生も、この日は誰もが全力で楽しくプレーをしていました。また、その年に新しく研究室へ配属された学生も多く参加し、先輩たちと団結して優勝を目指しました。そして、勝負を通じて研究室同士の交流も行われていました。

白熱した名勝負がいくつも行われ、応援席からは声援が送られていました。最後に、優勝したチームにはSMILEから景品が進呈されました。



インターンシップ祭の報告

日時:平成26年5月21日(水)

会場:桂キャンパス C3棟 講義室1 (b1N01)

昨年に引き続き、インターンシップに対する興味・関心を高めてもらうため、実際にインターンに参加した修士の皆様にお話を伺う場を設けました。

今回のイベントでは、大阪ガス(株)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、(株)デンソー、日本生命といった非常に幅広い分野でのインターン経験者にお集まりいただきました。

本イベントは司会者からの質問を中心としたパネルディスカッション形式で行いました。普段では聞くこと

できないインターン経験者の体験談を、出席者は熱心に傾聴していました。その後は、上記以外のインターンシップに参加された方も交えて小グループでの個別質問タイムとしました。そこでは、参加者からの積極的な質問がなされていて、インターンシップへの関心の高さを再確認することができました。

また、当日は、インターンシップに参加された方々の体験談を冊子にしてまとめたインターンシップ祭BOOKを配布しました。



工場見学の報告

支部のご支援を得て、3月7日に関西地区、9月4~5日に関東地区での工場見学を開催いたしました。

11月21・22日には、初の九州地区への工場見学を開催します。詳細は次号にてご報告いたします。

**平成27年3月6日(金)に
「学生と先輩との交流会」を開催します!**

詳細が決定次第、学生会員には、ポスターや電光掲示板、E-mailで案内します。

京機会学生会(SMILE)

京大機械系の学生同士・OB間の交流を促進するために設立された学生を主体とする団体です。毎週ミーティングを開き、様々なイベントを計画・実行しています。

新入会員も随時募集中! E-mail:keiki.smile@gmail.com

教員からのメッセージ

塩瀬 隆之氏の略歴：H8本学工学研究科修士課程、精密工学専攻修了。H14神戸大学大学院自然科学研究科助手、H16本学情報学研究科助教、H20本学総合博物館 准教授、H24経済産業省課長補佐(技術戦略担当)、H26より本学総合博物館准教授。



2014年7月に経済産業省行政官を退官し、京都大学総合博物館 准教授に復職いたしました。2012年7月から2年間、退職出向というかたちで京都大学を離れ、経済産業省にて技術戦略担当の行政官として我が国のイノベーションを下支えする研究環境整備や産業技術戦略立案に資する調査事業などに関わらせていただきました。

大学教員から行政官僚というまったく畑違いの生活に戸惑う暇もないくらいの毎日で、成長戦略や総合科学技術会議、科学技術基本計画など、重要施策の数々がどのように立案、決定、施行されていくのか、その成立過程に立ち会えたことは貴重な機会となりました。昨今、メディアでも注目を集めた3Dプリンタなどをはじめとした製造技術革新について検討する新ものづくり研究会やユーザー視点のイノベーションを起こそうと新商品開発から新規事業開発にまで広義のデザインの考え方を普及促進するデザイン思考活用研究会の立ち上げなど、京都大学時代の研究・教育経験に深く関係するような分野でも貢献する機会を得ることができました。中央省庁にとっても、現場に近い研究者がすぐ傍にいてということで、最先端の科学技術動向のみならず新たな人脈から政策立案の過程にこれまでとは異なる視点を加えることにもつながり、新たな人事交流の仕組みとして期待していただけそうです。

大学教員から行政官に転ずるといふ異例のキャリアパスではありますが、従前より学生や児童生徒らに多様なキャリアパスとチャレンジの重要性について説いてきた手前、自らが挑戦をしないわけにはいきませんでした。また、3年前に東日本震災で被災された学校の生徒たちと出会ったときに交わした会話が背中をおしてくれた一因です。「支えてくれたたくさんの人に恩返しをしたい」と語ってくれた生徒たちの力強い声があった一方で、地元の大人たちにはこのまま仕事があればその活躍の場すら子どもたちの手に入らないという事実の前に忸怩たる思いでいらっしやっただことが印象深く残っていたからです。教育機関で児童生徒に備えさせているはずの生きる力は、本当にこの時代の中で生き残れる力を身につけさせることができているのだろうか、という問題意識が自らの中で日に日に大きくなっていきました。

そして、「はたらくこと」と「学ぶこと」との距離をしっかりと測っておきたい、との思いから経済産業省へ行くことを決意し、どのような力がはたらいいていくために本当に必要なのか、を見極めたいと思いました。

つい数年前まで世界のトップシェアを占めていた事業分野が一気に赤字転落したり、我が国ではじめて開発されたはずの技術が実用段階で世界の後塵を拝してしまうなど、グローバルな競争下では研究、開発、生産、販売というリニアモデルの一部を担うだけの技術系人材ではもはや通用しなくなってきており、科学技術による製品やサービスが牽引する企業経営はますます難しさをましています。健全な経営の証左として会計報告が重視される一方で、四半期決算ごとの収益ばかりに注目が集まりすぎると、研究開発など成果が見えるまでに時間を要する経費はコストとしか見られないため、中長期的なビジョンに基づいた経営判断には消極的になってしまうからです。英国では統合報告(Integrated Report)と呼ばれるように、いわゆる会計報告のなかに企業の中長期的姿勢を明示的に報告させ、また同時にそれら中長期的姿勢を評価する望ましい投資家を育成するという好循環を目指す大きな制度変換も図られていますが、我が国ではまだそのような視点転換を大きく牽引するリーダーシップが発揮されてはおらず、多くの技術系人材を輩出する工学教育においても、市況の変化に左右されずに自らの力を発揮できるような技術系人材育成に十分その役割を果たせていると言えるのでしょうか。

国がなすべきこと、民間がなすべきこと、教育がなすべきこと、あらためていろいろな気づきがありました。国にも企業にもどこにも一押しでうまくいくようなスイッチは見当たりません。結局はそれらを構成している「人」「人」「人」だということ、ただ当たり前前のことに気づかされます。そういう意味で、教育の大切さ、その責任をあらためて認識しました。この現場を打破するには教育が変わるしかないと確信し、改めて大学教員として教育の現場に戻ることを切望しておりました。

このたび、2014年7月より再び大学にて教鞭をとることとなりましたが、卓越した専門性を備えるだけではなく、その専門性をより社会に橋渡しできるようにフィールドへの接続の力をも備えた技術系人材の育成により深く関わっていきたく考えています。

京都大学ではリーディング大学院プログラムの一つとして機械工学分野も参画している「京都大学デザイン学大学院連携プログラム(注)」を2013年4月より発足させています。そこでは、卓越した専門性を有した人材に、さらに異なる分野の専門家と協力して、

社会のシステムやアーキテクチャの変革を牽引できる指導的立場のリーダー人材を多数輩出することが期待される組織ですので、産業技術政策、デザイン政策に関して自身が得た経験からデザイン学教育に貢献できたらと考えております。

最後に、経済産業省行政官時代に出会った中で、俯瞰的視野をもち、行動力があり、統合する力をもっているという点で「彼らはよいバランス感覚をもっているな」と関心していた三人の人材が、いず

れも学生時代に「機械工学を専攻していた」という共通の話題になったことが印象的でした。多数の機構が組み合わさり、全体として要求されている仕様機能を果たす機械工学的視点、システム工学的視点は、俯瞰的視野を養うとても重要な基礎学問なのだとして再認識したエピソードです。京機会の多くの先達が様々な業界で指導的立場にいらっしゃる理由を垣間見た気がします。

(注) 「京都大学デザイン学大学院連携プログラム」の詳細は、前号 (No. 34) にてご紹介しております。

KARTからのお知らせとご報告

8月も後半に差し掛かり、2014年度全日本学生フォーミュラ大会まで残された時間もごく僅かとなりました。以下では、大会を目前に控えた中で、チームのこれまでの軌跡や大会への抱負をご報告いたします。

今年度KARTには6名が新たに入隊し、総員15名で活動しております。2回生以下では8名となり、次の世代への知識・技術の伝承も念頭に入れながら、車両の製作を進めてまいりました。

その2014年度車両 ”KZ-RR12” は去る7月5日に泉大津フェニックスにて、ようやくシェイクダウンを果たしました。昨年度車両からの大幅な変更は、各種ウイング等エアロパーツの追加、軽自動車のLSDを使用する完全新設計のドライブトレイン、空気式変速装置、2ペダル方式の採用など、多岐にわたります。その一方、これまでの車両で培われたエンジン制御技術やアルミ製フレームといったノウハウは引き継がれ、全く新たな試みとKARTの伝統が共存する車両となっております。これまで大小5回ほどの走行会を重ね、足回りのセッティングや車体トラブルの洗い出しを行ってまいりました。

8月初旬に行われた富士スピードウェイでの試走会ではまずまずの速さを見せましたが、その後フロントハブにガタが発生することが分かり、急ピッチで交換部品の製作を進めております。

また、車両の調整ももちろんですが、例年に比べて車両の完成が遅れたことと、新人ドライバーが多いことから、

いかにドライバーの練習時間を確保するかが、大会での命運を左右します。ドライバーそれぞれの経験と実際の走行タイムを踏まえて、本番で走行する種目を決定し、短い期間に的を絞って練習の機会を設けております。まだ見直すべき点は多いものの、各ドライバーとも確実に成長を見せ、大会に向けた心の準備も徐々に整いつつあります。今月下旬前には車両の修正を完了させ、大会前に数回走行テスト・ドライバー練習を行う予定です。



また、コストやデザインといった静的審査については、人手や準備不足等に悩むこともありましたが、経験の豊富な上回生が中心となって進め、例年に比べても遜色のない内容となっております。大会本番での発表は2回生に担当させるなど、こちらも世代交代を意識するとともに、昨年度振るわなかった成績を挽回する意気込みで臨みます。

この1年間、私達は連覇を目標に掲げて活動してまいりました。その結果が、まさに示されようとしています。エンデュランスを完走するその瞬間まで全力で戦い抜きますので、私達KARTに温かなご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2014年度プロジェクトリーダー 井澤純一

(注) 本原稿は、編集の関係で、8月に投稿いただきました。第12回学生フォーミュラ大会(9/2～6、エコパ(静岡県))や、KARTの今後の活躍・展望は次号にてご紹介いただきます。

<京機会事務局>



特定非営利活動法人 京都イノベーション・リソースのご紹介

去る6月18日、特定非営利活動法人(NPO)京都イノベーション・リソース(略称KIR)の平成26年度通常総会を京大本部時計台にて開催しました。

関西支部有志が中核になって、平成23年5月NPO法人を立ち上げましたが、殆どが素人ばかりの集まりにて、試行錯誤の連続でした。何とか無事3年を経ることができたのは、松久教授(当時)、吉田教授、榎木教授各先生方を始め、馳せ参じてくれた仲間の努力と、加えて終始温かい目で見守り支援していただいた、京機协会会员各位のお蔭と心から感謝している次第です。



NPO法人KIRは我が国のモノづくりに革新をもたらせる様な情報が集まる場(プラットフォーム)をつくり、社会に貢献することを目標にしていますが、この為の最大の武器は、京都大学や京機会とのネットワークです。

最近では活動の幅を広げるため、京機会以外、機械工学以外の専門家にも参加を呼び掛けていますが、まだまだ満足できる状態ではありません。現在の会員名や活動状況は、**ホームページ <http://kir.or.jp>** で、ご紹介しています。

さてKIRは目標達成のためいろいろの活動を行っていますが、大きく分けると京都大学各研究室との連携をはかることを目指す産官学連携活動と、産業界において大手企業が経営課題解決のために求めている優れた技術シーズを探索しマッチングさせるビジネスマッチング(産産マッチング)活動の2つに分けられます。

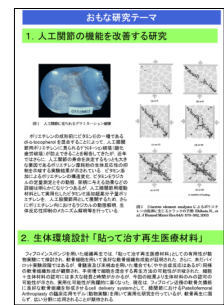
1. 産学官連携関連

1) 各研究室が保有するシーズの事業化を支援させていただくべく、1~2の研究室と協力して国プロなどの獲得を目指し、試行を続けてきました。更に多くの研究室とのタイアップを図るため、各研究室との対話を進めていく所存です。

2) KIR設立最初の仕事として、京大機械系教室の研究内容を紹介する冊子「メカ・グリッド」を発刊し、関係先に配布しました。

紹介文は殆どの研究室から執筆のご協力を頂き、また印刷経費を賄う為、多くの会社から広告掲載のご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

3) 第11回全日本学生フォーミュラ大会で待望の総合優勝を果たしたKARTに、京機会からの要望もあり、記念のテントを寄付させていただきました。



- 研究室紹介ページ 例 -

2. **ビジネスマッチング**

アベノミクスの恩恵か我が国大手企業の経営は一息ついたかにも見えますが、エネルギー問題、中小企業群の衰退、貿易収支赤字など我が国のモノづくりの環境は厳しさを増すばかりです。生き残りをかけて、企業が集中と選択をすすめ、自前主義にとらわれず、優れた外部技術の導入をして、結果として優れた新事業を迅速に立ち上げる、いわゆる「オープン・イノベーション」の重要性が喧伝されて久しくなりました。

2. ビジネスマッチング

我々KIRも、京機会に関連深い大手モノづくり企業の経営課題をお聞きし、これの解決に役立つ優れた技術シーズを探し、マッチングすることにより企業のイノベーションをお手伝いするビジネスマッチングに取り組んできました。KIR単独では、調査に必要な経費やマンパワーを賄えきれないので、多くの場合、都度最適のパートナーと組んで実施してきました。活動例(表1)をご紹介します。

京都イノベーション・リソースは京機会の仲間が作ったNPO法人です。運営協力、ニーズ提供など皆様のご協力をお待ちしています。

NPO法人京都イノベーション・リソース
理事長 中谷征司(S37)

表1 KIRのビジネスマッチング実績

実施年度	狙い	ニーズ提供企業	シーズ企業	パートナー
2011年度	自動車部品工業	自動車部品製造関西3社	全国31社	京都リサーチパーク(株)
2012年度	大阪中小企業支援 優良企業発掘	全国大手16社	大阪府下 153社	(株)パナソニック
	電気・電子工業	電子部品製造(京都)2社	全国21社	京都リサーチパーク(株)
	神戸中小企業支援	関西大手企業2社	神戸市9社	(公財)神戸市産業振興財団
2013年度	大阪中小企業支援 ネットワーク充実	中国・関西地区13社	大阪府下 47社	(株)キャリアネットワーク京都
	電子工業	電子部品製造(京都)1社	全国 25社	京都リサーチパーク(株)
	神戸中小企業支援	関西大手企業2社	神戸市19社	(公財)神戸市産業振興財団
	ニーズ企業独自開拓試行	工具メーカー1社	全国4社	KIR独自

学生会員への京機会活動

京機会は、卒業生のための同窓会組織でもありますが、近年、学生会員(機械系専攻在学生)向けの行事や支援も数多く行っています。

2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

平成26年度は、6月18日(京大創立記念日)に、コマツと(株)クボタを見学しました。

中部工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、京機会中部支部、京機会学生会SMILEの協力のもと、実施される1泊2日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

平成26年度は、9月25日～26日に実施されます。

SMILE主催 工場見学会

京機会各支部(関西・関東・中国四国・九州)のご協力より、京機会学生会SMILE主催の工場見学を実施しています。京機会からは、参加学生に一部補助金を提供し、参加しやすい環境を作っています。また、各支部や訪問企業からも多大なるご尽力をいただいています。

平成26年度は、9月4～5日に関東地区、11月21～22日に九州地区にて開催します。

京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。(但し一部適用されない行事もあります。)

修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。(下記写真)

修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位記授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。



新社会人への記念品贈呈



新社会人となる学生会員には、修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。

学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評をいただいています。

平成26年度は、2015年3月6日(金)に、京都リサーチパークにて開催します。学生会員は、早期申込により懇親会にワンコイン(500円)で参加できます。

脇坂基金の運用・管理

脇坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

< 修士学生会員のみなさんへ >

「京機会 海外へチャレンジ・脇坂基金」に応募ができます。申請方法は、京機会ホームページに掲載しています。E-mailでも案内します。



脇坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。状況により修士以外の学生会員の応募も可能です。

平成25年度 学位授与式の風景

平成26年3月23・24日に、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)、機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催しました。23日には、京機会主催で記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品贈呈がありました。



会員のページ

杉江研究室同窓会

恩師杉江先生が今春に還暦をお迎えになられたことを記念して、平成26年5月17日(土)に同窓生一同で祝賀会を開催しました。

宇治キャンパスでのミニ昼食会に始まり、研究発表会、近況報告会、研究室見学会、そして京都ホテルオークラに移動して77名の参加による記念祝賀会と、盛りだくさんの行事となりました。研究室が今夏にはついに宇治から吉田へ移ってしまうこともあり、見学会には「さよなら宇治キャンパス」という副題を付け、現在の学生部屋や実験装置などを見学しました。

祝賀会は全編ピアノの生演奏付で、先生の顔写真ラベル付特製ビールでの乾杯に始まり、懐かしい写真集による振り返りや昔の爆笑できごとランキング発表、ものまね有名人の飛び入り参加を経て、最後には60本のバラの花束と同窓生からの記念品が贈呈され、記念写真撮影で終了しました。

ご還暦とはいえ、まだまだ若々しい杉江先生のご多幸とますますのご活躍をお祈りします。



西脇研究室同窓会

5月3日、生産システム工学研究室の同窓会を開催しました。昨年度に続き2度目の開催で、現役学生とここ数年で卒業された先輩方を中心に、約30名の方に参加いただきました。

まず桂キャンパス内での近況報告会が行われ、次に会場を移動しての食事会が行われました。終始和気あいあいとした空気の中、現在の研究内容や研究室生活を報告し、OBの方々からも近況報告とともにキャリア選択などについて様々なアドバイスをいただきました。また、昨年度から撮影を続けていた、研究室学生一同による「恋するフォーチュンクッキー」のダンス動画の完成版を上映し



ました。その動画の撮影場所は、院生室や追いコン会場、研究室旅行で訪れたアユタヤ、アンコールワットなど多岐にわたっており、現在の研究室の和やかな雰囲気を象徴する1本になっています。

同窓会は、社会の様々な分野で活躍されている先輩方と現役の学生との交流を深め、人脈を築ける絶好の機会です。また、私たち学生にとっては将来のキャリアを考えるうえで貴重なお話を聞けるチャンスですので、今後も継続して開催していきたいと思えます。

50年会(1950年卒)同窓会

日時:平成26年5月19日(月)11:00~14:00

場所:下間邸

50年会会員が15名となり出席者も少なくなってきたので、今回から会員下間君の邸にて開催することになった。出席は(下間、福井、森川、小澤)の4名で、家庭的な雰囲気の中で話が弾んだ。欠席会員には全員の近況報告を配布した。

今回は来年5月第3月曜日に開催する。(小澤記)



京機28年卒(新制)同窓会

本会では、本年5月12日(月)にホテルグランヴィア大阪にて同窓会を行いました。

出席者は9名(山田、西岡、大路、足立、角田、松田、西田、村山、中川(隆)(順不同))。

年とともに欠席者がふえてきますが、出席の9名は皆元気よく、最近のニュースなどにつき、活発な議論をくりひろげ盛会に終始しました。次回も来年5月頃に開催することを約して散会しました。(中川(隆)記)



昭和42年卒同期会

平成26年4月12日(土)に中部国際空港セントレアで開催された京機会春季大会でS42年同期生が4名集まりました。S42年同期では関西で年に1回、関東で年に2回同期会が開催されています。今回はその中間地点での京機会本部大会でしたが、中部支部から2名、関西支部から1名、ソウルから1名の参加でした。普段立ち入ることが出来ない滑走路見学で迫力ある飛行機の離着陸を間近に見たのち、スーパー消防車の見学をしました。

出席者:伊藤、加藤、城下、藤川、写真中央は京機会松久会長。
(藤川記)



昭和42年卒関西同期会

S42年卒の京機会メンバーの関西同期会を、平成26年6月7日にホテルグランヴィア大阪 19階アブで開催しました。同期メンバーの近況を中心に歓談したところ、あっという間に3時間が過ぎました。忙しい人が多いためか今回は9名の参加にとどまりました。次回はもう少し多く集まるよう希望しています。

次回は、平成27年6月6日(土)17時から同場所(Hグランヴィア大阪)で行います。関心ある方は幹事川合まで。
hts_kawai@yahoo.co.jp
(川合記)



昭和42年卒関東同期会

関東支部S42年卒同期会では、毎年春と秋に北品川の「金時」で定例懇親会を開催しております。最近では平成25年11月8日(金)と平成26年5月16日(金)に同期の仲間が集まりました。
(藤川記)

(右上段写真:平成25年秋、右下段写真:平成26春)



昭和29年卒(洛友会)同期会

平成26年5月19日桂キャンパス「ラ・コリーヌ」で卒業60周年の総会を開催しました。10周年20周年30周年と区切りごとに全体の総会を開いていましたが、平成に入ってから5周年刻みに全体の総会をまた毎年地区の総会を開催してきました。今年は60周年ということでこれまでの総会での記念写真と幾らかの宴会のスナップ写真を纏めたアルバムを回覧し、会食しながら賑やかに歓談しました。

歓談の後は岩井・巽両先生他の方々にはC3棟の実験室などを案内していただき、いくつかの研究施設と内容を説明していただきました。「京機短信」で紹介された今年度の卒業・修士論文の題目でも見られたように当然のことながら60年ほど前とは研究内容が全く違うことを実感しました。桂キャンパスの見学は有意義に終わりました。次期幹事は浅野・高井・中井・三氏にお願いしました。

(岡崎記)



同窓会開催のお手伝いに関しましては、ご遠慮なく事務局にお問い合わせ下さい。

昭和35年卒同窓会

5月21日～22日に伊東温泉、城ヶ崎遊覧船と伊豆高原で開催。初夏の晴天に恵まれ、参加は同窓生16名、ご夫人4名の盛会でした。開催地は2年毎に関西、中京、関東の持ち回りで今回は関東が当番でした。

21日は前回以降に逝去された丸岡氏と水島氏の霊に黙祷を捧げてから1次会の宴会、引き続いて部屋での2次会で懇親を深めました。22日は城ヶ崎遊覧船で海からの景色を楽しみ、伊豆高原では昼食の海の幸に舌鼓を打ちました。(平澤記)



昭和49年卒ミニ同窓会

6月14日(土) 楽友会館でいくつかのグループの昔の仲間12名が集まりました。74年学年幹事の田上さんも参加されました。

各人の近況報告で飲み放題時間をオーバーするほど大いに盛り上がった宴会でした。

参加メンバーは以下です。(50音順 敬称略)

市場良行 稲本智之 凡茂樹 大野秀雄 柏木健男
閑納眞一 左田野豊 高橋祐輔 田上眞 原口賢一
松下健次郎 三浦均

田上さんから卒業40年を記念して全体同窓会の提案があり、10月4日(土) 楽友会館開催の案が出ました。

関係者には別途、案内がありますのでご参加よろしく
お願いします。(閑納記)



京機38会(昭和38年学部卒) 貴船で開催

7月30日京都・貴船の「ひろや」(40年前に最初の同期会を実施)で開催。対象者の70%近い23名が参加。

まずは、近くの駒井京大名誉教授宅にて「駒井鉄道」を見学。その後バスで貴船に移動し、川床料理「ひろや」で宴会。乾杯後降雨のために屋内に移動したが盛会裏に終了。その後全員で貴船神社に参拝し「紅ない燃ゆる」「琵琶湖周航歌」を歌い奉納した。2次会は植物園前の「In the Green」にて実施。

翌31日は、京大桂キャンパスを見学。京機会事務室で休憩後、北村隆行教授より「ナノメートル・スケールの破壊力学への挑戦」について説明を受け、実験室などを見学。卒業後半世紀が過ぎ、研究内容・設備が様変わりしているのに大驚愕。昼食をキャンパス内のレストラン「ラ・コリース」で取った後散会した。

なお次回は四国地方にて開催の予定。(安江記)



昭和40年卒同窓会(4040会)

昭和40年卒業の同期は毎年1回集まり、旧交を温めています。平成26年は4月14日に下呂温泉で宿泊宴会を行いました。28名が集まり、このうち6名は奥様同伴でした。温泉につかり、美酒を酌みかわすとともに、深夜までの懇談、美声のカラオケなど元気なところを見せました。快晴に恵まれ、春の高山祭など、満開の桜の飛騨地方を堪能した2日間になりました。

来年は卒業50年を記念し、京都で元気に再会することを誓って別れました。(奥田記)



京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただきます場合があります。またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。次号(No.36)締切は2015年7月末日です。担当:富田直秀、鈴木基史、小森雅晴、段 智子